

いわき市産 GAP 認証農林産物のPRイベントを開催！

ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま

令和5年 6月号

vol.220

発行日

2023/6/29

写真について
詳しくは
p12を
チェック！

- 01 いわき市産 GAP 認証農林産物のPRイベントを開催！
- 02 各種取組の実績（5～6月分）
- 07 お知らせ
- 07 いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果
- 07 いわき地方の出荷制限等品目
- 07 磯遊び等における注意事項
- 08 福島県農薬危害防止運動の実施について
- 09 林業アカデミーふくしま オープンキャンパスを開催
- 10 食品表示法あれこれ
- 10 6次化商品紹介
- 11 高校生発！いわきテイクアウトメニュー優秀レシピ紹介

特集

いわき市産GAP認証農林産物のPRイベントを開催！

1 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催！

6月17日（土）、マルト SC 平尼子店において、今年度1回目の「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

当所では、いわき市産農林産物の安全性やおいしさなどの魅力を消費者に直接伝えるとともに、生産者の GAP の取組を紹介し、GAP 認証農林産物の購買意欲を高めることを目的に本キャンペーンを実施しています。

当日は、マルト SC 平尼子店の協力のもと、青果売り場に GAP 認証農林産物（トマト、長ネギ、しいたけ、フリルレタス、小松菜など）を陳列し、そのうち2点以上の商品を購入した方に GAP に関するアンケートを実施しました。回答してくださった方には、いわき市産ミニトマト（GAP 認証品）、いわき市産トマトを使用したトマトジュース、いわき市産米粉を使用した焼き菓子「nutchu(ナッチュー）」（県立平商業高校の生徒が考案）、県内の農業系高校等で生産したお米「#青春 GAP 米」をプレゼントしました。



▲ キャンペーン会場



▲ GAP 認証農産物を買求める来店客



▲ アンケート回答の様子



▲ プレゼント品



2 GAP 認証に関するアンケート結果

今回のアンケート調査は、149 名の方に回答いただきました。GAP について「知っていた」「名前だけは知っていた」と回答した方が参加者の過半数を超え (R3:42%、R4:44%)、GAP への知名度が着実に高まっていることがわかりました。

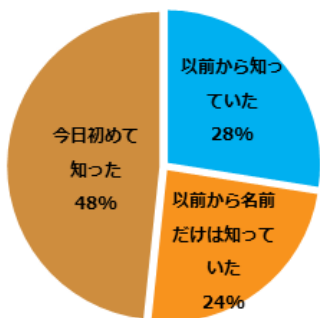
また、約 8 割の方が「県産の農林産物を意識して購入している」と回答し、県産農林産物が広く認知されていることがわかる結果となりました。



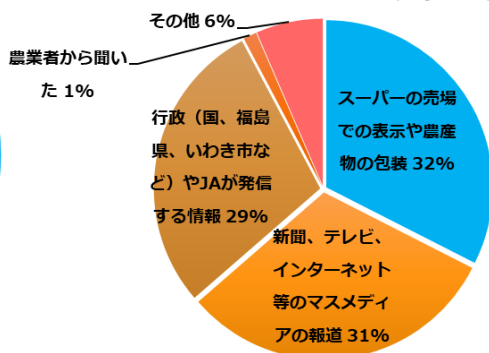
▲ 「アグリ☆ファイブ」のトマにゃんは家族連れにも大人気!

主なアンケート結果

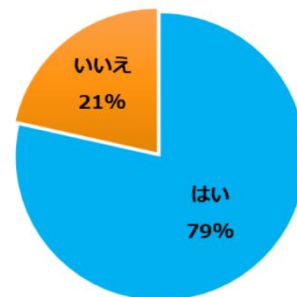
●このイベントまでにGAPをご存知でしたか？



●どのようにしてGAPについて知りましたか？



●普段、福島県産の農産物を意識して購入していますか？



3 おわりに

当所では、引き続き市内量販店や関係機関と連携し、様々な手段を活用しながら、いわき市産農林産物や GAP の PR に取り組んでまいります。
(企画部・農業振興普及部)

ふくしま復興 楢葉町×マルトさつまいもプロジェクト苗植え会 5月23日(火)

楢葉町のさつまいもを日本一に！との想いで、株式会社マルトがさつまいもの苗植えから商品化までを行う「楢葉町×マルトさつまいもプロジェクト」。

昨年度、同プロジェクトで商品開発に関わった、磐城桜が丘高校・小名浜海星高校・磐城農業高校・ふたば未来学園高校の生徒ら約 130 人が参加し、楢葉町のほ場でさつまいもの苗植え会が行われました。

雨模様の中、生徒たちは「昨年を超えるような商品を開発したい」と意気込んで苗植えを行っていました。秋の収穫が楽しみです。
(企画部)



▲ 気合いを入れて「植えるぞー！」



▲ 植えられた苗



ふれあい農園開園式

5月27日(土)

いわき農業青年クラブ連絡協議会では、今年も夏井地区にふれあい農園を設置しています。今回、農園利用者15名が参加し、開園式が開催されました。

クラブの中村彰宏会長による挨拶と、ふれあい農園利用の注意事項について説明があった後、青年クラブ員が利用者の栽培している野菜の様子を実際に見ながら、栽培管理のアドバイスをを行いました。

今後、ふれあい農園では、7月に栽培指導会、11月に収穫祭が開催される予定です。

当所では引き続き、青年クラブの活動を支援してまいります。
(農業振興普及部)



▲ 栽培のアドバイスをする青年クラブ員

一般社団法人モクティ倶楽部 第2回植樹活動

5月27日(土)

一般社団法人モクティ倶楽部の第2回植樹活動が、いわき市田人町旅人字弥太郎地内で開催されました。

当倶楽部は、資源の持続的利用を進めるために森林整備を行っており、昨年度の下郷町に続き、今年度はいわき市での開催となりました。

今回の植栽活動では、早生樹(生長の早い樹種)として知られるコウヨウザンを約1,000本植栽しました。約150名の参加者は、晴天の下、心地よい汗を流しながらコウヨウザンのコンテナ苗を植えていきました。

また、植栽活動前には、遠野興産株式会社によりドローンを使った苗木運搬のデモンストレーションが行われ、参加者はドローンの見事な飛行に目を奪われていました。

来年の植樹活動は田村市で開催される予定です。

(森林林業部)



▲ ドローンによる苗木運搬デモンストレーション



▲ 植樹活動

【コウヨウザンとは】

ヒノキ科コウヨウザン属に分類される常緑の針葉樹。漢字では広葉杉と書く。中国原産で、日本には江戸時代後期に渡来。スギと比べ初期生長が著しく早く、特に2年目以降の生長量は1.5~2倍になるといわれている。



田んぼアート in いわき 5月28日(日)

いわき市山田町において、毎年恒例の「田んぼアート in いわき」の田植え作業が行われました。(主催：NPO 法人 ミッション、共催：井上水土里保全会)

コロナ禍もあり2年ぶりの開催となりましたが、一般応募で約40名の参加がありました。デザインは、いわき市立菊田小学校の4～6年生が担当し、今年の干支である兔(うさぎ)をかわいく描いてくれました。また、苗は磐城農業高校の生徒が育ててくれました。



▲ みんなで田植え作業開始



▲ ちびっ子も泥んこになって田植え

参加したちびっ子たちは、冷たい田んぼに足を入れた瞬間に大はしゃぎ。大人たちも、兔を思い浮かべながら黙々と田植え作業を行い、田植えは約2時間で終了しました。

田んぼアートの見頃は、8月上旬から下旬の1ヶ月間。稲刈りには、磐城農業高校の生徒も参加することによって、みんなやる気満々です。高い場所から眺めるための^{やくら}櫓も準備されていますので、山田町方面にお越しの際は是非お立ち寄りください。(農村整備部)

いわき農林事務所若手職員研修会 5月31日(水)

若手職員を対象に、各種事業等の現場を視察する研修会を実施しました。これは、農林事務所が取り組んでいる様々な事業について理解を深めるとともに、若手職員同士が交流する機会を設け、コミュニケーションを活性化させることを目的として実施したものです。

林道「永井川前線」、草野グリーンファーム(葉ねぎ栽培)、ワンダーファーム・JRとまとランドいわきファーム、農地中間管理機構関連農地整備事業「神谷地区」を視察し、各現場では、担当する農林事務所職員が講師を務めました。なかには、研修に参加した若手職員が担当として事業内容を説明する場面もありました。

自分の担当業務以外の現場を訪れる機会は貴重で、参加者は農林事務所が実施する業務の幅の広さを実感しているようでした。(総務部)



▲ 林道「永井川前線」



▲ 草野グリーンファーム



▲ JRとまとランドいわきファーム



▲ 農地中間管理機構関連農地整備事業「神谷地区」



松くい虫の被害拡大防止対策を実施

6月5日(月)~

いわき市は、松くい虫被害の拡大防止を目的として、6月5日~6日、13日~14日の期間、四倉・大久、勿来、小名浜、新舞子の民有林において、薬剤散布を行いました。

マツは海岸や痩せ地にも生育することから、潮害や土砂の流出を防ぐ国土保全機能があるほか、林産物（きのこや木材）の生産、白砂青松や街道のマツ並木など景観保全の働きもあります。このため、いわき市と当所は連携して被害拡大防止に努めています。

当日は夜明けとともに、市の委託事業者が薬剤調合を行い、ヘリコプターやトラックに薬剤を積み込み、手際よく散布作業を行っていました。散布の際は、周囲やマツ林内に人が入り込んでいないかなど、安全対策に十分留意しながら作業にあたりました。

(森林林業部)



松くい虫被害は、「マツノサイセンチュウ」という体長1mmにも満たない線虫がマツの樹体内に入ることによって引き起こされます。その線虫をマツへ運ぶのは、「マツノマダラカミキリ」というカミキリ虫です。カミキリ虫がマツを食べる時に線虫が樹体内に侵入・増殖し、マツが衰弱してしまいます。



▲ 送風式噴霧機による薬剤散布

いわき地域産業6次化ネットワーク交流会を開催

6月9日(金)

県いわき合同庁舎において、地域産業6次化に関する講演と消費税インボイス制度に関する説明を行いました。当日は市内の事業者など40名の参加がありました。

講演は、株式会社マルト取締役本部長の安島大司氏を講師に迎え「地元農林水産物を活かした商品開発」と題し、(株)マルトの地域連携の取組や6次化商品開発について、豊富な事例を基に紹介していただきました。参加者からは「マルトのコンセプトと具体的な活動は大変参考になった」などの感想がありました。

また、消費税インボイス制度説明ではいわき税務署の担当者が、消費税の仕組みからインボイス制度の基本的事項などの説明を行いました。

県では、今後も関係機関と連携しながら、事業者の皆さまの地域産業6次化の取組を支援してまいりますので、当所またはふくしま地域産業6次化サポートセンターいわき事務所までお気軽にご相談ください。

(企画部)



▲ 安島氏による講演



▲ 消費税インボイス制度説明

Topic 山田地区ネギ植え付け・田植え

農地中間管理機構関連農地整備事業「山田地区」で整備されたほ場では、4月から5月にかけて、特産のネギ植え付けと、田植え作業が行われました。令和4年度からは新たに12.4haの農地が整備され、水稻は17.9ha、ネギは1.6ha、ほ場整備後2回目の作付けとなります。ネギは、定植機に苗箱を乗せ、畝間に効率よく植え付けを行います。聞くとところによると、1パレットは苗が600~700本にもなるとのこと。

これから農家さんが手塩にかけて育て上げ、秋には美味しいネギとお米が収穫されることを願うばかりです。今から待ち遠しいですね。二次元コードまたは写真下のURLから、関連動画もご覧ください！（農村整備部）



▲ ネギの苗を機械で植付け

<https://www.youtube.com/watch?v=aYD8G0KtH4k>



▲ 大区画の水田で田植え

<https://www.youtube.com/watch?v=-HL9JZxyDm8>

Topic ホッキ貝初漁

ホッキ貝漁が6月1日に解禁となり、いわき市漁協では久之浜、四倉、沼之内支所所属の漁船3隻が出港しました。初日の水揚量は約540kgで、平均554円/kgで販売されました。

漁師曰く「前年と同様、今年も身入りがよく、大型の貝が多い」とのことでした。豊かな海で育つため、『常磐もの』のホッキ貝は大きく食べ応えがあるのが特徴です。

また、福島県では禁漁期（2~5月）や漁獲可能サイズ（7.5cm超）等を設定することにより、限りある資源の保護を目的とした「SDGsへの取組」を実施しています。

ホッキ貝の旨味を活かした「刺身」や「天ぷら」のほか、地元では「炊き込みご飯」や「カレー」などが人気の食べ方です。これからさらに美味しくなるホッキ貝、是非ご賞味ください。（水産事務所）



▲ 水揚げされたホッキ貝



▲ 市場での競りの様子

お知らせ

いわき地方の農林水産物モニタリング検査結果(令和5年5月分)

令和5年5月の農林畜産物モニタリング検査では、11品目20検体を検査し、全ての検体について基準値(100Bq/kg)を超えたものはありませんでした。内訳は表1のとおりです。(企画部)

(表1) 品目と検体数

キュウリ(施設)1、カブ1、サヤエンドウ1、キャベツ1、もみじがさ(しどけ)(野生)1、わらび(栽培)2、うわばみそう(野生)1、うど(野生)1、牛肉9、はちみつ1、原乳1

海産魚介類の検査結果

令和5年5月の水産物モニタリング検査では、105検体の海産魚介類を検査し、全ての検体について放射性セシウムは検出されませんでした。(水産事務所)

いわき地方の出荷制限等品目

令和5年5月末現在、いわき地方の農林畜産物のうち、出荷制限等の対象となっている品目は(表2)のとおりです。出荷制限等品目は、出荷・販売だけでなく、宿泊施設等での提供や加工用原材料として使用することもできません。また、自主検査等により基準値(100Bq/kg)以下であっても出荷・販売はできませんのでご注意ください。

(表2) 農林畜産物の出荷制限等品目(令和5年5月末現在)

(企画部)

制限、自粛	区分	品目
出荷制限	山菜	たけのこ、ぜんまい、たらめ(野生のものに限る)、わらび(野生のものに限る) ^{※1} 、こしあぶら
	きのこ	原木なめこ(露地)、野生きのこ ^{※2}
	海産魚介類	クロソイ
出荷自粛	山菜	さんしょう(野生のものに限る)

※1 わらび(栽培)で出荷・販売できるものは、安全性が確認されたほ場で生産されたものに限ります。(市内該当生産者15名のみ)

※2 野生きのこは、摂取も制限されています。

磯遊び等における注意事項

連日、暑い日が続いていますが、磯遊び等の海でのレジャーをお楽しみいただく方に守っていただきたいルールがあります。

福島県沿岸のほぼ全域には漁業権が設定されており、アワビ・ウニ・二枚貝(ホッキガイ、アサリ、カキ、イガイ、コタマガイ)、海藻(ワカメ、アラメ、ノリ、ヒジキ、マツモ、コンブ)、エムシの漁業権対象種を採捕すると、漁業権侵害となる恐れがあります。また、福島県漁業調整規則では、水産動植物の採捕について下表の制限等を定めています。ルールを守って、海でのレジャーを楽しんでください。

詳しくは、県のホームページ(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36490a/gyogyokisoku47.html>)をご確認いただくか、水産事務所(0246-24-6175)までお問い合わせ下さい。(水産事務所)

(表) 福島県漁業調整規則における制限

遊漁者が行うことのできる漁具漁法	竿(さお)釣り及び手釣り、たも網及び叉手(さで)網、船を使用しない投網、やす(柄を持ち獲物を突くもの。発射装置(ゴム、水中銃)付きのものは、やすではありません。)はぐ(くまで、いそがね、スコップ)、歩行徒手による採捕
	アサリ: 殻長 2.5cm 以下、ハマグリ: 殻長 3.0cm 以下 等

福島県農薬危害防止運動の実施について

福島県では6月10日から9月10日までの期間、農薬危害防止運動を実施しています。

今年度は、農薬使用基準の遵守、農薬飛散防止対策の徹底、住宅地等における農薬適正使用の推進を重点事項として実施しています。 (農業振興普及部)

守ろう農薬ラベル 確かめよう周囲の状況

ラベルの確認

適用病害虫と使用方法		
作物名	適用病害虫名	希釈倍数
トマト	コナジラミ類	2000～
ミニトマト		3000倍

1. 使用年月日
2. 使用場所
3. 農作物名
4. 農薬の種類・名称
5. 使用量・希釈倍数

周辺への配慮

農薬散布のお知らせ
 ○○年○月○日 ○時～○時
 場所○○○○ 目的○○○○
 農薬名○○○ 濃縮先○○○

飛散の防止

帳簿に記録

土壌くん蒸剤は必ず被覆

くん蒸中
立入禁止

施錠して保管

移し替え厳禁

https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_tekisei/ 農薬の適正使用 農林水産省 検索

詳しくはこちら

令和5年度農薬危害防止運動 農林水産省・厚生労働省・環境省・都道府県共催

【農薬適正使用に関するご意見・お問い合わせ】

福島県環境保全農業課 Tel : 024-521-7453

〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2-16 (福島県庁西庁舎9階)

電子メールでのお問い合わせはこちらから→





林業アカデミーふくしま オープンキャンパスを開催

福島県では7月27日(木)と7月30日(日)の2日間、林業アカデミーふくしまのオープンキャンパスを開催します。

林業に関する仕事に就きたいと考えている方や森林に興味がある方は、是非ご参加ください。

各回の受入れ最大人数は30名となっていますので、申込みはお早めに！

(森林林業部)

林業アカデミーふくしま オープンキャンパス in 2023

7/27(木)

7/30(日)

午前の部 10:00~
午後の部 13:00~



林業アカデミーふくしま研修施設

林業や自然に興味のある方！

この「林業アカデミーふくしま」で一緒に森林で働くことについて学びませんか？

各回最大**30名**受け入れておりますので、お申し込みはお早めに！
詳細は裏面をご覧ください！

＜当日のイベント内容＞

7/27(木)

- アカデミー概要説明
- アカデミー施設案内ツアー
- 丸太の輪切り実演
- ハーベスタシミュレータ操作体験
- チェーンソー始動体験
- 個別相談

7/30(日)

- アカデミー概要説明
- アカデミー施設案内ツアー
- 立木伐倒実演
- ハーベスタシミュレータ操作体験
- チェーンソー始動体験
- 丸太の輪切り実演
- 研修生&修了生との対談
- 個別相談




＜アクセス＞

〒963-0112 郡山市安積町成田西島坂1 林業研究センターの中にあります。

入り口：北門または南門（東門通行不可）
（お車で）
JR郡山駅から約20分 郡山南ICから約10分
（公共交通機関で）
安積永盛駅から徒歩25分



【オープンキャンパスに関する申込み・お問い合わせ】

福島県林業研究センター Tel：024-945-5974

- スマートフォンをお持ちの方は右記二次元コードよりお申込みください。
- 電話による申込みも可能です。





食品表示法あれこれ ③非売品や無償サンプル等の食品表示

イベント等で生鮮食品や加工食品を無償配布する場合、一律に表示なしで配布することはできません。食品表示基準第5条及び第20条に、無償配布等を行う場合に表示を要しない事項が列挙されており、これに沿って表示する必要があります。

食品表示に関するご不明な点は、当所企画部（Tel.0246-24-6197）までお気軽にお問い合わせください。相談の内容によって、保健所等の関係機関へ案内します。 （企画部）

<p>生鮮食品を無償配布する場合で、省略せず表示が必要な主な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 ただし、下記条文の括弧書きに限定列挙された食品のみ表示が必要です。 （例：容器包装された、シアン化合物を含有する豆類、アボカド、…、もも、りんご、食肉、生乳、…、切り身又はむき身にした魚介類 等） <p>【根拠】 食品表示基準第20条〔表示義務の特例〕</p>	<p>容器包装された加工食品を無償配布する場合で、省略せず表示が必要な主な事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名称 ・アレルギー ・添加物 ・消費期限 ・保存方法 ・製造者 <p>【根拠】 食品表示基準第5条〔表示義務の特例〕</p>
--	---



表示を要しない場合

- ・包装されていない加工食品の無償配布
→食品表示基準の範囲外
（例：屋外イベントで軽食をふるまう、スーパーにおけるウイナー等の試食会）
- ・玄米、精米の無償配布
→食品表示基準第20条により、「玄米及び精米に関する事項」は表示を要しない
（注：炊飯されたパックご飯等は加工食品の表示義務あり。米トレーサビリティ法の産地情報伝達義務なし。）



こだわりと美味しさがつまった いわき自慢の6次化商品をご紹介します

小川町の草野いちご園は土づくりにこだわった土耕栽培でいちごを生産しています。栽培品種は「とちおとめ」、福島県オリジナル品種の「ふくはる香」、そして昨年本格デビューした福島県オリジナル新品種「ゆうやけベリー」。草野いちご園のいちごを求めて、市内各地からお客さんが来る程の人気です。

そんな草野いちご園では「いちごのジェラート」を販売しています。当園の「ふくはる香」を100%使用した、まさにいちご農家ならではのジェラートです。香料等は無添加で、自然ないちごの香りとやさしい甘酸っぱさが楽しめます。販売を開始した去年は、予想以上の人気で欠品することもあったそうですが、今年は生産量を増やし、できるだけ多くの方へ届けたいと意気込んでいます。

販売は当園直売所のみです。いちごの収穫・販売がない5月末～12月末は直売所が閉まっていますが、電話での問い合わせに対応しているので、販売や発送は可能です。お持ち帰りの際は保冷バックをお忘れなく。

ハウスの中はいちごの香りでいっぱい！
（いちご狩り等は行っておりません。）

ふくはる香使用

販売元・お問い合わせ
草野いちご園（直売所併設）
 ①いわき市小川町高萩字前川原33 ②090-6453-8908

●いちごのジェラート〈カップ入〉 380円(税込)

第3回高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発 優秀レシピ紹介 vol.4

昨年度、地元農産物の魅力を発信するため、市内の高校生と飲食店等が共同でテイクアウト商品を開発した「第3回高校生発！いわきテイクアウトメニュー開発」。当事務所のホームページにレシピ集を公開中です！
今回はレシピ集から「株式会社マルト」の商品化レシピ「きのこチャーハン」をご紹介します！ (企画部)



商品化
レシピ
株式会社マルト

きのこチャーハン

(商品名：歯ごたえバツグン！きのこのチャーハン)





商品化

吉田 侑真さん
福島県立いわき光洋高等学校 1年
(応募時)
調理時間：30分
食材費(2人分相当)：600円



応募時

材料

ごはん (Iwaki Laiki)※炊飯済… 300g
牛豚合挽き肉 …………… 200g
にんじん …………… 100g
しめじ …………… 160g
しいたけ …………… 4個
卵 …………… 2個
(A) しょう油 …………… 大さじ2
みりん …………… 大さじ2
コチュジャン …………… 大さじ1
おろしにんにく …………… 小さじ2
(B) 塩 …………… ふたつまみ
黒コショウ …………… ふたつまみ
ごま油 …………… 大さじ2
青ネギ(小口切り) …………… 適量

作り方

- ① にんじんを5mm角に切る。
- ② しめじ、しいたけの石づきを切り落とし、粗みじん切りにする。
- ③ 中火で熱したフライパンにごま油をひき、①を入れて炒め、合挽き肉と②を入れ、肉の色が変わるまで炒める。
- ④ (A)の調味料を加え、全体になじませるように炒めたら、ごはん、溶き卵を入れ、強火にして炒める。
- ⑤ ごはんがパラパラしてきたら、(B)で味を調える。
- ⑥ お皿に盛り、小口切りにした青ネギを散らして完成。

作品のPRポイント

味が濃く、ボリュームで、とてもおいしくなっています。



【レシピを参考に作ってみた！】

なめことエリンギを追加して、なめこあんかけきのこチャーハン！
いわきのきのこがたっぷりです。あんは片栗粉を使わず、なめこでとろみをつけています。シンプルながらガッツリ系の味付けに、きのこの食感が相まって食べ応えバツグン！夏はきのこで乗り切ろう！ (Y・W)

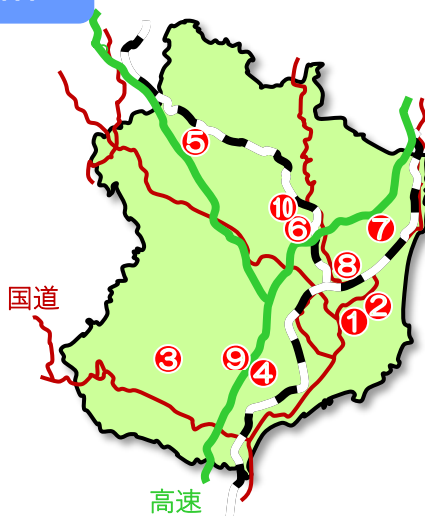
レシピ集はこちら！



今月号に掲載した場所はこちら！

- ① 株式会社マルト SC 平尼子店 (p.1)
平尼子町3-1-1
- ② ふれあい農園ほ場 (p.3)
平荒田目
- ③ モクティ倶楽部植樹活動会場 (p.3)
田人町旅人字弥太郎
- ④ 田んぼアートほ場 (p.4)
山田町
- ⑤ 林道「永井川前線」(p.4)
川前町
- ⑥ 草野グリーンファーム (P.4)
小川町下小川字広畑9
- ⑦ ワンダーファーム・JRとまとランドいわきファーム(p.4)
四倉町中島字広町1
- ⑧ 農地中間管理機構関連農地整備事業「神谷地区」(P.4)
平下片寄
- ⑨ ネギ・水稲植付ほ場 (p.6)
山田町
- ⑩ 草野いちご園 (P.10)
小川町高萩字前川原33

いわき市
MAP



【カスミソウが出荷最盛期！】※表紙の写真について

福島県の宿根カスミソウの出荷量は、全国3位！福島を代表するお花です。
カスミソウといえば会津地方の昭和村のイメージが強いと思いますが、実は、いわき市でも栽培されているのをご存じでしたか？主に小川町で栽培されています。
そんなカスミソウは今が出荷最盛期！
1つ1つのお花は小さいけれど、全体でみると不思議な存在感を感じる、魅力的なカスミソウ…。
お店で見かけた際は、ぜひお買い求めください！

(農業振興普及部)



あとがき

今年は梅雨空が多く、季節の変わり目を感じる6月でしたね。自転車通勤の私にとっては少々面倒ですが、先日道路脇に見た紫陽花はととても綺麗でした。
今月号の特集記事では、6月17日に開催した「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンについてご紹介しました。当日は梅雨の合間の晴天で、家族連れが多く来店された印象です。「アグリ☆ファイブ」のトマにゃんは幅広い年代に大人気で、写真を撮る人、ハイタッチしたり、優しく撫でていく人など、様々でした(笑)。本キャンペーンは、趣向を変えてあと3回開催予定です。ぜひ、GAP認証について考え、いわき産野菜の美味しさを再発見する機会になればと思います。お楽しみに！(K.K)

◎ 皆様からのご意見・情報をお待ちしております。
福島県いわき農林事務所 企画部 地域農林企画課
〒970-8026 福島県いわき市平字梅本15番地
(県いわき合同庁舎 3階)
TEL (0246)24-6152 FAX (0246)24-6196
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36270a/>



いわき農林水産ニュース